

## 肉用種雄牛の産肉能力検定 (現場後代検定法)

木村安之・堀越忠泰・大川清充・相澤博美<sup>1</sup>

Progeny Test of Sire in Japanese Black Cattle

Yasuyuki KIMURA・Tadayasu HORIKOSHI・Kiyotaka OHKAWA and Hiromi AIZAWA<sup>1</sup>

### 要 約

直接検定合格の県内産候補種雄牛2頭（茨北安，明福4）について，（社）全国和牛登録協会が定める和牛種雄牛産肉能力検定法（現場後代検定法）に基づき肥育試験を実施し，産肉能力を評価した。その結果，成績が優秀な「茨北安」を種雄牛として選抜した。

キーワード：肉用牛，和牛，種雄牛，改良，現場後代検定，茨北安，明福4

### 緒 言

産肉能力検定（直接法）により選抜された県内産候補種雄牛について，遺伝的に産肉能力の優れた種雄牛を選抜するため，（社）全国和牛登録協会の定める産肉能力検定法（現場後代検定法）に基づき検定した。

### 材料及び方法

#### 1. 検定種雄牛

直接検定で選抜された県内産候補種雄牛「茨北安」，「明福4」の2頭。

#### 2. 肥育場数 3場

茨城県畜産センター肉用牛研究所  
全国農業協同組合連合会茨城県本部傘下農場  
茨城県畜産農業協同組合連合会傘下農場

#### 3. 調査牛頭数

茨北安：18頭（去勢12頭・雌6頭）  
明福4：16頭（去勢8頭・雌8頭）

#### 4. 導入，出荷時期

概ね8か月齢で導入し，去勢は生後29か月齢未満，雌は32か月齢未満で出荷した。

#### 5. 調査項目

（社）日本食肉格付協会が実施した牛枝肉格

1 現 茨城県農林水産部畜産課

付結果を用いた。

#### 6. 飼料給与及び飼養管理

各肥育場の慣行法による。

なお，当該においては，濃厚飼料は市販のものを使用した。成分は表-1のとおりである。粗飼料については，乾草と稲わらを給与した。乾草はチモシーを導入後3か月間不断給与し，それ以降は給与しなかった。稲わらは，導入後4か月間は濃厚飼料と混合給与し，それ以降は濃厚飼料と分離給与した。

1牛房にあらかじめ除角した去勢と雌を混飼し，敷料はおがくずを使用し，適宜交換した。

表1 現場後代検定用配合飼料の成分と配合割合  
(重量比 単位:%)

穀類	そうこう類	植物性油かす類	その他	DCP	TDN
50.0	43.5	5.5	1.0	10.5 以上	72.0 以上

### 結果及び考察

#### 1. 検定終了牛の概要

(1) 茨北安 (いばきたやす)

平成11年2月11日生

黒原3974

父 : 北国7の8

母の父 : 安福

遺伝病 : 全てマイナス

調査頭数 : 18頭

(2) 明福4 (あきふく4)

平成11年8月23日生

黒原3973

父 : 明光4

母の父 : 安福

遺伝病 : すべてマイナス

調査頭数 : 18頭で2頭除外

2. 枝肉成績

各候補種雄牛の枝肉成績は表-2, 表-3  
のとおりである。枝肉重量は, 茨北安, 明福  
4とも良好であった。脂肪交雑を示すBMSNo値  
が, 茨北安は良好であった。

育種価評価結果は表-4のとおりである。

茨北安は, 脂肪交雑の能力が特に優れ, ば  
らの厚さ, 枝肉重量も良好であると推定され  
た。

明福4は, ロース芯面積の能力に優れ, 枝  
肉重量も良好であるが, 脂肪交雑の能力は  
普通であると推定された。

3. 種雄牛の選抜

茨城県肉用牛育種改良推進協議会で検討の  
結果, 茨北安を種雄牛として選抜した。

表2 茨北安現場後代検定結果

検定 番号	性	母の父	母の母の父	枝肉 重量 kg	ロース芯 面積 cm <sup>2</sup>	バラ厚 cm	皮下 脂肪厚 cm	歩留 基準値 %	脂肪交雑		格付	瑕疵等
									BMSNo	等級		
1	去勢	谷福6	英美	542.0	63	9.4	2.5	74.9	8	5	A-5	ウ 僧帽筋
2	去勢	安福57	糸清水	474.0	52	8.6	2.5	73.8	9	5	A-5	
3	去勢	東萩	第20平茂	457.5	45	8.6	2.4	73.2	4	3	A-3	
4	去勢	東平茂	福金晴	393.5	44	7.0	2.4	72.8	3	3	A-2	
5	雌	谷福6	菊美	444.0	38	9.4	2.3	73.0	4	3	B-3	歩留補正
6	雌	菊安	糸福	448.5	57	8.6	2.9	74.4	5	4	A-3	
7	去勢	糸竜	糸福	477.5	64	8.9	2.0	75.9	6	4	A-4	
8	去勢	紋次郎	糸姫	355.0	49	7.0	1.1	75.0	4	3	A-3	
9	去勢	糸竜	八重福	355.0	36	6.0	1.1	72.7	4	3	B-3	イ 全身
10	去勢	菊谷	賢晴	392.0	44	7.3	1.6	73.7	4	3	A-3	
11	雌	金鶴	北国7の8	425.0	56	8.5	1.6	75.5	8	5	A-5	
12	去勢	平茂勝	紋次郎	410.5	46	7.7	2.6	73.0	4	3	A-3	
13	去勢	平茂勝	神高福	455.0	46	7.6	1.9	73.1	8	5	A-4	
14	去勢	谷福6	亀継2	484.5	50	7.9	2.2	73.2	5	4	A-4	
15	去勢	紋次郎	糸晴波	441.0	51	6.4	1.4	73.6	8	5	A-5	
16	雌	北国7の8	谷福6	457.5	52	8.3	2.3	74.0	5	4	A-3	
17	雌	東平茂	金山	457.0	59	7.6	1.5	75.1	9	5	A-5	
平均	全体			439.4	50.1	7.9	2.0	73.9	5.8	3.9		
	去勢			436.5	49.2	7.7	2.0	73.7	5.6	3.8		
	雌			446.4	52.4	8.5	2.1	74.4	6.2	4.2		

表3 明福4現場後代検定結果

検定 番号	性	母の父	母の母の父	枝肉 重量 kg	ロース芯 面積 cm <sup>2</sup>	バラ厚 cm	皮下 脂肪厚 cm	歩留 基準値 %	脂肪交雑		格付	瑕疵等
									BMSNo	等級		
1	去勢	賢深	糸光	462.0	54	7.6	1.5	74.5	5	4	A-3	
2	去勢	久菊6	谷福6	457.5	51	7.9	2.6	73.2	3	3	B-2	歩留補正
3	去勢	高栄	寿高	409.0	49	7.8	1.4	74.6	4	3	A-3	
4	雌	高栄	亀継2	465.5	39	7.6	2.1	71.9	3	3	B-3	
5	雌	谷福6	亀継2	検定中止								
6	雌	美幸福	谷福6	411.0	46	7.4	3.0	72.5	3	3	A-2	
7	去勢	明光4	安福165の9	331.0	46	7.0	0.8	75.2	4	3	A-3	
8	去勢	糸弘2	神高福	459.0	58	7.2	0.9	75.2	6	4	A-4	
9	雌	美津福	糸光	399.0	58	7.2	1.5	75.4	5	4	A-3	
10	雌	糸福	八重福	443.0	60	8.0	1.9	75.3	6	4	A-3	
11	雌	菊谷	恒徳	308.5	49	5.8	1.5	74.5	4	3	A-3	
12	雌	北国7の8	安美金	397.0	53	8.1	2.0	74.9	7	4	A-4	
13	去勢	東平茂	安福165の9	検定中止								
14	去勢	福桜	糸晴	490.5	54	7.4	1.8	73.6	6	4	A-4	
15	去勢	安金	谷福6	460.5	46	7.1	1.8	72.7	3	3	A-2	
16	去勢	第4光吉	光神の3	422.5	48	6.5	2.1	72.9	4	3	A-3	
17	雌	賢深	糸光	482.0	66	8.9	3.0	75.2	7	4	A-4	
18	雌	福昌	賢晴	404.5	52	7.6	2.7	73.7	5	4	A-3	
平均	全体			425.2	51.8	7.4	1.9	74.1	4.7	3.5		
	去勢			436.5	50.8	7.3	1.6	74.0	4.4	3.4		
	雌			413.8	52.9	7.6	2.2	74.2	5.0	3.6		

表4 現場後代見地結果の育種価評価

	枝肉 重量 kg	ロース芯 面積 cm <sup>2</sup>	バラ厚 cm	皮下 脂肪厚 cm	歩留 基準値 %	脂肪交雑
						BMS
県基準値	404.222	49.699	7.281	2.643	73.318	1.217
茨北安	37.270	6.229	0.921	-0.697	1.573	1.799
明福4	39.471	10.032	0.221	-0.912	1.780	1.240